

# 「プロ参入より仙台復興」

プロバスケットボールリーグ「bjリーグ」入りを目指していた市民団体「奈良にプロバスケットボールチームをつくる会」(略称・ナラプロ)が、2012～13年参入の目標を見送った。代表の加藤真治さん(40)＝大和郡山市出身＝が運営会社役員を務める仙台市のプロバスケットチーム「仙台89ERS」が、震災で活動を中止。仙台の立て直しを優先するため、ナラプロの活動が困難になったためだ。



加藤真治さん

東日本  
大震災

奈良バスケットbjの夢先送り

## まず被災球団再建 大和郡山出身の役員



避難所で被災者に支援物資を配る仙台89ERSのスタッフら＝4月17日、宮城県気仙沼市



避難所で子どもたちと遊ぶ＝4月7日、同県多賀城市、いずれも仙台89ERS提供

3月11日の震災当日、加藤さんはナラプロの活動のため、仙台から奈良に来ていた。仕事の合間、大地震のニュースが飛び込んできた。仙台89ERSの運営会社(仙台市)と連絡がついたのは数時間後。社員と選手全員の無事を確認したが、二万単位の犠牲者が出ているはず。とんでもないことになるかと直感した。16日に仙台入り。ホームゲ

ームに使う体育館は天井が落ち、会社も壁にひびが入るなど被害を受けていた。「バスケットをするところではない。ホームゲームも当面できない」。チームと会社の存続を優先し、断腸の思いで今季の活動を中止することにした。

一方、ナラプロはbjリーグへの12、13年シーズン参入の申請を1月に出し、4月末に結論が出る予定だったが、震災の影響で7月後半に持ち越された。しかし、加藤さんは結論を待たずに6月、リーグに参入見送りの意向を伝え

た。「仙台の立て直しが落ち着き、奈良にきちんと向き合える段階になってから改めて挑戦したい」

加藤さんは奈良県内の企業などを回り、ナラプロを知ってもらう取り組みも少しずつ再開している。ナラプロメンバーの奈良市のITコンサルティンク会社社長渡辺淳さん(38)も、名刺の裏側にナラプロの肩書を印刷、仕事先で活動を紹介して回る。「想像を絶する困難の中、(加藤さんは)仙台でしっかり結果を出している。こちらプロチームを作る信念を失わず、できることから進めたい」

震災を通じ、加藤さんは改めてプロスポーツの役割の大きさを感じたという。「街全体がふさぎ込み、明るい話題も口にしづらい雰囲気の中、スポーツの話をきっかけにして皆に笑顔が生まれ、前向きな気持ちが起こった。(奈良のチームの)13、14年シーズンの参入が実現するよう活動を続け、決してあきらめない」

(荻原由希子)